北海道芸術デザイン専門学校　教科目概要（授業カリキュラム）

職業実践専門課程　環境デザイン学科（2年制）

インテリアデザイン専攻

※2022年度実績

※2023年4月よりインテリアデザインとコーディネーションの2つの専攻が1つになり、インテリアデザイン・コーディネーション専攻に名称、およびカリキュラムを変更し、
インテリアデザインとコーディネーションの両方を学べる専攻になります。

教科目	概要	1年次	2年次
インテリア概論	インテリアデザイン、コーディネーションボード等の作成を中心にもの創りの楽しさを学ぶ。インテリアデザイナー、コーディネーターとして必要な知識、技術を身に着け、実践する能力を養う。	○	
英語	芸術分野・デザイン分野の職業の中で、英語を使用する場面に必要な知識を習得する。英会話を通して、コミュニケーション能力向上を目指す。	○	
住まいと環境	安全・衛生的かつ快適な環境を実現するための基礎的な事項を学び、建築をとりまく自然環境の特性、熱移動の基本的プロセス、熱の平衡、人間の感覚と快適環境条件を理解する。	○	
色彩計画	各種表色系や、色の対比・感情効果、色彩調節の手法を実例を見ながら学び、色彩理論や目的に基づく配色計画を様々なデザインに応用することを学ぶ。カラーカードを用いた演習により、実践的な色彩計画をたてられる能力を身につける。	○	
インテリア計画Ⅰ	建築と環境、各種建築物の計画に関する基礎的な知識と技術を習得し、豊かな建築空間を合理的に計画し、設計できる能力を養う。条件（立地、予算、法規、機能）を整理検討し、具体的な形状や空間としてまとめる為の基本的な考え方を学ぶ。常用寸法やヒューマンスケールを身に付ける。	○	
インテリア計画Ⅱ・Ⅲ	住宅空間に焦点を当て、その実例を通してディテール、建築手法、計画における幅広い知識を習得する。住宅に係る要素を学び、それぞれの関係性の比重によって住宅の形態が多様であることを理解する。		○
インテリアデザイン基礎演習	著名なインテリアデザイナーについて調べ、その分析を通じて業界の仕事に触れる。照明器具のシェード製作を通して機能とデザインの基礎を学び、言葉を使わずに意図を伝えるというデザインの役割を体験する。	○	
インテリアデザイン応用演習	既存シティホテルの改修課題。実際の物件を対象に現地視察を行い周辺状況の確認から課題条件を読み解き、各自で課題対象範囲に対してテナントの設定とインテリアの提案を行う。		○
基礎製図	建築図面の描き方やルールを学び、各種図面を理解しながら作図出来る基礎的能力を身につける。	○	
パースペクティブ基礎演習	設計意図を的確にクライアントに伝え、かつ自身の空間イメージの把握として、パース技法を習得する。空間のスケールと形態、開口部の位置や納まりを自己確認する能力を養う。	○	
インテリア構法	インテリアの構造・構法と仕上げに関する知識を解説。建築の技術用語、基礎的な構造形式を習得する。素材については事例分析をしながら実際のサンプルに触れて特性を学ぶ。	○	
基礎力学	構造力学の基本事項として、建築構造物の種類、力のつり合い、構造物のモデル化と作用する外力、構造物に生じる応力と変形の関係を理解する。	○	
インテリアエレメント	建築内部空間の「しつらえ」に関する部分について日常生活における具体例、実物を見ながら授業展開を行う。内装材・ファブリック・家具・照明のインテリアエレメントに対する知識を学び、ショールームで実際に確認する。	○	
インテリア施工	建築の設計から施工に至る建築生産の全工程における建築生産体制、各種の課題、施工技術について実例に基づき学習する。	○	
CAD演習Ⅰ	建築CADの概要、二次元CADによる作図の方法を学び、コンピュータを利用した設計・製図技能を習得する。CADによる建築設計製図のスキルと基礎理論の習得を目的とし、身近な空間を題材としてスケール感を把握し、的確に図面表現が出来る能力を養う。	○	
CAD演習Ⅱ・Ⅲ	コンピュータを利用して建築空間の検討や建築物の形態、室内環境、景観などをシミュレーションし、素早く、きれいに、分かり易く、設計内容を提示する能力を養う。設計に必要な技術と表現（CAD：製図、CG：プレゼン）を実践的な課題と関連付けながら学び、知識を深める。		○
ユニバーサルデザイン論	ハートビル法を理解し、ユニバーサルデザインを考慮した各部寸法、面積、配慮事項を設計演習を通して学ぶ。高齢者や障害者の行動特性を知り、居住環境における配慮点を考慮した設計が出来る能力を養う。基本的な建築知識を福祉領域で使用することができる。	○	
住空間計画	住宅の設計を中心に幅広く建築に触れ、計画する意味や楽しさを見出し、現地調査から設計までを体験する。建築設計の流れを把握し、インテリア設計に活かす事が目標。	○	
造形演習Ⅰ	作品製作を通じて建築設計に必要なヒューマンスケール、三次元形態の把握方法を理解する。建築物を立体的に表現する能力を身につける。	○	
造形演習Ⅱ・Ⅲ	模型制作を通して各工法の基本となる構造や名称を学習し、現場施工の手順に沿って組み立てることにより、施工の流れの概略を理解する。		○
DTP基礎演習	コンピューターの基本操作と、デザイン業界で世界標準のグラフィック描画ソフトIllustrator、Photoshopソフトの操作スキル、デザインテクニックを学び、検定試験の合格を目指す。	○	

北海道芸術デザイン専門学校　教科目概要（授業カリキュラム）

DTP応用演習	プレゼンテーションにおけるDTP作業、テーマ・コンセプト内容・情報や思いが人に伝わる作品説明になるように、レイアウト、画像加工、色彩学を応用し、作品を的確にわかりやすく伝えるためのデジタルデザインを学ぶ。		○
インテリア模型	インテリアデザインのプレゼンテーションに、より効果的な手段としての模型制作技術を習得する。インテリア素材や家具に関する観察力を磨き、コンセプトを端的に伝えられる模型構成を目標とする。	○	
3Dデザイン演習Ⅰ	効果的なプレゼンテーションに不可欠な製図技法、表現技法の一つとして、Vectorworks やRender WorksなどのCADソフトの習得を目指す。家具、室内3D空間、プレゼンテーションの作成まで、CAD／CGテクニックを習得。	○	
3Dデザイン演習Ⅱ・Ⅲ	3Dデザイン演習Ⅰにて学んだ技術を基に、より高度なモデリングテクニックを学び、外構のデザインを含めたトータルなプレゼンテーションを目指す。		○
インテリアディテール	『良いデザインは良いディテールの積み重ねで出来ている』ディテールの重要性を実物や素材に触れる機会を通して体験し学ぶ。インテリアディテールの基礎知識、デザイン、プレゼンテーション、素材知識、納まりを身につける。	○	
インテリア設計演習	リゾートホテルのスイートルームやアパレルショップ等、各種設計条件（計画目的、周辺状況、所要スペース等）を満たす平面図兼家具配置図、透視図を描き、計画力、表現力を養う。	○	
商業施設デザイン演習Ⅰ	店舗における商環境の理解と効果的な空間デザイン計画に必要な関連法規・各部詳細・エレメントの知識を習得し、実践的な空間デザイン計画に応用する。実務としての必要図面を一式作成する。	○	
商業施設デザイン演習Ⅱ・Ⅲ	カフェレストランのデザインをモデルとして設計工程、調査・資料収集、構想、設計、プレゼンテーションまでを順を追って学習する。商業施設計画に必要な設計図書、関連法規を理解する。		○
インテリア装備	各部の構法・材料やエレメント（家具、照明器具、壁紙、建具、カーテン等）、防災安全・サイン計画について演習課題を通して学ぶ。		○
住宅設計演習	住宅設計に係る基礎的な知識、技術、工法を踏まえ演習課題を通して心地よい住空間をデザインする力を養う。		○
設備計画	建築の要素技術である建築設備の位置づけおよび概論的な内容を講義する。給排水衛生設備計画を進める上で必要となる基礎知識を習得する。		○
建築一般	建築物の構造システムや建築形態とそれに相応しい構造材料・構造方式、および各種構造における構法を学習する。		○
インテリア法規	建築基準法及び建築基準法施工令を基本として、建築物自体の主要な技術基準、主要な建築制限、制度規定について学び、設計に際しての実務に応用すべく能力を養う。		○
プレゼンテーションⅠ	インテリア空間を表現するための手段としてのプレゼンテーションについて、知識と技術を学び、イメージや考えを相手に的確に伝える能力を養う。	○	
プレゼンテーションⅡ・Ⅲ	インテリアの基本計画・設計を造形的表現、技術的表現を用いて的確に伝達するビジュアルプレゼンテーション技法を学ぶ。プレゼンテーションⅠで学習した基礎技術をもとに、建築、インテリア空間をより一層明確に表現・伝達する技術を習得する。		○
業界研究	キャリアプラン（進路設計）を計画・実行する力を育成する。自分の目指す業界、企業の具体的な調査・分析方法を習得し、エントリーシート・履歴書・ポートフォリオの作成を行い活用する能力を養う。		○
前期課題制作Ⅰ	日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作を行い、各種コンテスト(コンペ、公募、アワード)へ出品する。	○	
前期課題制作Ⅱ・Ⅲ	必要な資料を収集するリサーチ能力や、多様な視点から発想を広げて具体的な表現に展開する力を身に付ける。		○
後期課題制作	日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめとして課題制作を行う。進級制作に繋がる資料収集、準備、計画に役立てる。	○	
進級制作	素材を活かしたインテリア空間の提案と、クライアントの要望に基づいたテーマ設定のもと、設計計画からプレゼンテーション（テーマ・コンセプト・ダイアグラム・各種図面・イメージパース（立体表現）・インテリアエレメントを含むDTP表現）まで行い、１年間の総まとめの作品を制作。	○	
卒業制作	独自のテーマ設定のもと、設計計画からプレゼンテーションまで、コスト管理も含めた実践的な提案に取り組む。2年間の集大成となる作品を制作。		○
総履修時間		1,200	1,200

取得目標資格	在学時：アソシエイトインテリアプランナー、インテリアコーディネーター、福祉住環境コーディネーター、建築CAD検定、商業施設士補、リビングスタイリスト資格試験、色彩士検定、ビジネス能力検定ジョブパス、Photoshopクリエイター能力認定試験、Illustratorクリエイター能力認定試験、2級建築施工管理技士（学科試験）など 卒業後：インテリアプランナー、二級建築士、商業施設士（商業施設士補保有者は学科試験免除）、2級建築施工管理技士、宅地建物取引主任者

※1年間で1,200単位時間、2年間で2,400単位時間学びます。
※時勢や企業のニーズにより、内容が変更になることがあります。

職業実践専門課程　環境デザイン学科（2年制）

インテリアコーディネーション専攻

※2022年度実績

教科目	概要	1年次	2年次
インテリア概論	インテリアデザイン、コーディネーションボード等の作成を中心にもの創りの楽しさを学ぶ。	○	
英語	芸術分野・デザイン分野の職業の中で、英語を使用する場面に必要な知識を習得する。英会話を通して、コミュニケーション能力向上を目指す。	○	
住まいと環境	安全・衛生的かつ快適な環境を実現するための基礎的な事項を学び、建築をとりまく自然環境の特性、熱移動の基本的プロセス、熱の平衡、人間の感覚と快適環境条件を理解する。	○	
色彩計画	各種表色系や、色の対比・感情効果、色彩調節の手法を実例を見ながら学び、色彩理論や目的に基づく配色計画を様々なデザインに応用することを学ぶ。カラーカードを用いた演習により、実践的な色彩計画をたてられる能力を身につける。	○	
インテリア計画Ⅰ・Ⅱ	人間工学・インテリア計画の初歩的学習を行う。設計条件分析、発想方法、さらにそれらを具体化させラフプランニングを図面化し、設計の流れを学ぶ。	○	○
インテリアデザイン基礎演習	著名なインテリアデザイナーに関する研究。PPシートを用いた照明器具の製作を通じて、自己表現とイメージを実現させる難しさ、完成した時の達成感を味わうことにより、実社会での人の立場や苦労を知り、デザインの楽しさを知る。	○	
インテリアデザイン応用演習	既存のシティホテルの改修等、実際の物件を対象に現地視察、周辺状況の確認、各自で課題対象範囲に対してテナント設定とインテリアの提案を行い、実際のクライアントを想定し、プロとしての内容を責任をもって説明する。		○
基礎製図	建築図面の描き方やルールを学び、各種図面を理解しながら作図出来る基礎的能力を身につける。	○	
パースペクティブ基礎演習	設計意図を的確にクライアントに伝え、かつ自身の空間イメージの把握として、パース技法を習得する。空間のスケールと形態、開口部の位置や納まりを自己確認する能力を養う。	○	
パースペクティブ応用演習	自己イメージの模索、形成過程、クライアントへのプレゼンテーションとしての、効果的なインテリアパースの習得を目指す。着彩と添景描写の技術,多様な着彩材料を使用し、作品に合った表現方法を習得する。		○
インテリア構法	インテリアの構造・構法と仕上げに関する知識を解説。建築の技術用語、基礎的な構造形式を習得する。素材については事例分析をしながら実際のサンプルに触れて特性を学ぶ。	○	
基礎力学	構造力学の基本事項として、建築構造物の種類、力のつり合い、構造物のモデル化と作用する外力、構造物に生じる応力と変形の関係を理解する。	○	
インテリアエレメント	内装材・ファブリック・家具・照明のインテリアエレメントに対する知識を学び、ショールームで実際に確認する。	○	
インテリア施工	建築の設計から施工に至る建築生産の全工程における建築生産体制、各種の課題、施工技術について実例に基づき学習する。	○	
CAD演習Ⅰ・Ⅱ	製図技法、表現技法としてのCADをとらえて、その技術習得を目指す。建築CAD検定上位級を目指す。インテリアデザインにCADを応用し、家具、室内2D・3D空間の作成、プレゼンテーションボードの作成まで、CAD/CGテクニックを習得する。	○	○
ユニバーサルデザイン論	ハートビル法を理解し、ユニバーサルデザインを考慮した各部寸法、面積、配慮事項を設計演習を通して学ぶ。	○	
住空間計画	住宅の設計を中心に幅広く建築に触れ、計画する意味や楽しさを見出し、現地調査から設計までを体験する。建築設計の流れを把握し、インテリア設計に活かす事が目標。	○	
造形演習Ⅰ・Ⅱ	作品製作を通じて建築設計に必要なヒューマンスケール、三次元形態の把握方法を理解する。模型制作を通して各工法の基本となる構造や名称を学習し、現場施工の手順に沿って組み立てることにより、施工の流れの概略を理解する。	○	○
DTP基礎演習	コンピューターの基本操作と、デザイン業界で世界標準のグラフィック描画ソフトIllusutrator、Photoshopソフトの操作スキル、デザインテクニックを学び、検定試験の合格を目指す。	○	

北海道芸術デザイン専門学校　教科目概要（授業カリキュラム）

DTP応用演習	プレゼンテーションにおけるDTP作業、テーマ・コンセプト内容・情報や思いが人に伝わる作品説明になるように、レイアウト、画像加工、色彩学を応用し、作品を的確にわかりやすく伝えるためのデジタルデザインを学ぶ。		○
インテリア模型	インテリアデザインのプレゼンテーションに、より効果的な手段としての模型制作技術を習得する。インテリア素材や家具に関する観察力を磨くことを目標とする。	○	
インテリアコーディネーション演習	プレゼンテーションの重要性と実際のインテリアコーディネーションの一連の流れを理解した上で、コーディネーターが行う、基本計画案や実施計画案、各種エレメントなどのプレゼンテーションボードの作成技法を習得する。	○	
インテリアコーディネーター資格試験講座	インテリア（内装、家具、ファブリックス、照明器具、住宅設備等）に関する商品知識を身につけ、インテリアコーディネーター資格試験合格を目指す。		○
インテリアディテール	自分のデザインをラフプランから実際の制作までを、ディスプレィを通して素材研究し、インテリア空間を実際にデザインする過程を習得する。	○	
インテリア設計演習	リゾートホテルのスイートルームやアパレルショップ等、各種設計条件（計画目的、周辺状況、所要スペース等）を満たす平面図兼家具配置図、透視図を描き、計画力、表現力を養う。	○	
商業施設デザイン演習Ⅰ	店舗における商環境の理解と効果的な空間デザイン計画に必要な関連法規・各部詳細・エレメントの知識を習得し、実践的な空間デザイン計画に応用する。実務としての必要図面を一式作成する。	○	
インテリア装備	各部の構法・材料やエレメント（家具、照明器具、壁紙、建具、カーテン等）、防災安全について学習する。		○
住宅設計演習	住宅設計に係る基礎的な知識、技術、工法を踏まえ演習課題を通して心地よい住空間をデザインする力を養う。		○
設備計画	給排水衛生設備計画を進める上で必要となる基礎知識を習得する。		○
建築一般	建築物の構造システムや建築形態とそれに相応しい構造材料・構造方式、および各種構造における構法を学習する。		○
インテリア法規	建築基準法及び建築基準法施工令を基本として、建築物自体の主要な技術基準、主要な建築制限、制度規定について学び、設計に際しての実務に応用すべく能力を養う。		○
プレゼンテーションⅠ・Ⅱ	プレゼンテーションを作成する上で必要なイラストレーター・フォトショップの知識と技術を活用し、イメージや考えを相手に的確に伝える能力を養う。	○	○
業界研究	インテリア業界を知り、研修、訪問などを通して実社会をより深く知る事で総合的なインテリアの仕事を理解し就職活動につなげて行く。自分の作品（成果物）を、応募企業に評価してもらうためのポートフォリオの作成技術を学ぶ。		○
前期課題制作	日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、前期のまとめとして課題制作をする。	○	○
後期課題制作	日常の講義や演習を通して学んだ発想、技法を活かし、後期のまとめとして課題制作をする。	○	
進級制作	素材を活かしたインテリア空間の提案と、クライアントの要望に基づいたテーマ設定のもと、設計計画からプレゼンテーション（テーマ・コンセプト・ダイアグラム・各種図面・イメージパース（立体表現）・インテリアエレメントを含むDTP表現）まで行い、１年間の総まとめとして発表、提出する。	○	
卒業制作	クライアントの要望に基づいたテーマ設定のもと、設計計画からプレゼンテーションまで、コスト管理も含めた実践的な提案に取り組む。2年間の総まとめとして、完成度のある提案を目指し、全力を尽くして取り組む。		○
総履修時間		1,200	1,200

取得目標資格	在学時：インテリアコーディネーター、アソシエイトインテリアプランナー、福祉住環境コーディネーター、建築CAD検定、色彩士検定、リビングスタイリスト資格試験 商業施設士補、ビジネス能力検定ジョブパス、Photoshopクリエイター能力認定試験、Illustratorクリエイター能力認定試験、色彩検定（UC級）など 卒業後：インテリアプランナー、商業施設士（商業施設士補保有者は学科試験免除）、キッチンスペシャリスト、窓装飾プランナー

※１年間で1,200単位時間、2年間で2,400単位時間学びます。

※時勢や企業のニーズにより、内容が変更になることがあります。